

令和元年度 消費・安全対策交付金事後評価結果

目的	目標	事業実施主体	事業内容	事業実施実績	交付金相当額(円)	目標値及び実績			都道府県等の事後評価			
						目標値	実績	達成度	評価	評価の概要及び対応方針等	第三者の意見	
I 農畜水産物の安全性の向上	農薬の適正使用等の総合的な推進	三重県	○農薬の安全使用の推進 ○農薬の適切な管理及び販売の推進	農薬使用者を対象とした研修会等の開催 実施：484回 参加人数：6,398人 ゴルフ場における農薬使用状況の調査及び記載指導 実施：23件 農薬販売者の指導の実施：100件 農薬管理指導士の育成研修等農薬の適正使用・管理に関する研修会：7回 研修対象者数：346人 うち新規認定者数：23人 三重県農薬管理指導士総認定者数（R2.3.31現在）：1,059人	100,000	農薬の不適切な販売及び使用の発生割合の減少率	3.5%	4.0%	99%	A	農薬販売者の不適正な事例のうち届出の不備については、代表者の変更に伴う届出を行っていなかったものであり、後日変更届が提出されている。帳簿の保管については整備するよう指導を行った。有効期限切れ農薬の販売については、指摘当日に撤去された。農薬に該当しない除草剤の販売、物資の区分の不備については指導後、次年度以降改善の確認を行う。 農薬使用者に対する立入調査に関しては、今後も違反無しが継続するよう、農薬管理指導士の研修等を通して農薬適正使用の知識の普及・啓発に努めていく。	ゴルフ場の農薬調査・点検パトロールでは不適正事例ゼロが継続されている。農薬販売者の不適正な事例についても「農薬販売者の届出の不備」、「帳簿の整備と保存の不備」、「有効期限切れ農薬の販売」であり、指摘により改善されている。「農薬に該当しない除草剤の販売」、「物資の区分の不備」についても立入検査によって指摘・指導することができている。 農薬使用者に対する指導も着実な成果を挙げている。 引き続き、農薬の安全使用等の総合的な推進に向けて、関係者の意識向上に取り組んでいただきたい。
	水産物の安全の確保	三重県	○貝毒発生監視調査 ○ヒラメクドア汚染実態調査	・監視調査 51回 ・実態調査 1回	439,000	貝毒発生監視調査の総実施数	51回	51回	100%	A	事業実施計画に基づき定期的な調査を実施した結果、消費者に対して安全な二枚貝が供給された。また、ヒラメクドア症による汚染も確認されず、水産物の安全と信頼の確保が図られた。	例年と同様に貝毒の定期的な監視調査が計画通り実施されており、予算も適切に執行されている。貝毒の検出は認められず、原因ブランクトンも問題がないことを明らかにした。監視調査が消費者への信頼や水産物の安全確保に大きく貢献したものと評価される。引き続き監視調査等による水産物の安全性の確保に努めて頂きたい。
II 伝染性疾患・病害虫の発生予防・まん延防止	家畜衛生の推進	三重県	○監視体制の整備 ・BSE検査・清浄化の推進 ・家畜衛生関連情報の整備 ・精度管理体制の確立 ○家畜衛生対策による生産性向上の推進 ・慢性疾病等生産性を阻害する疾病の低減 ・動物用医薬品の適正使用・流通促進 ○畜産物の安全性向上 ・生産衛生管理体制の整備 ・動物用医薬品の危機管理 ○家畜衛生対策の推進に係る関連機器の整備	・年間ELISA検査実施頭数：36頭 ・家畜保健業績発表会などへの参加：23名 ・検査機器校正：1式 ・調査実施農家数：24戸 ・指導・監視実施件数：52件 ・農場HACCP認証支援農家：4戸 ・使用実態調査戸数：111戸 ・衛生検査関連機器：1式	9,420,000	家畜衛生に係る取組の充実度	102	86	84%	A	本事業の実施により、伝染性疾患の発生件数はH27～29年度の3年間の平均よりも抑制することができたものの、検査件数が平均を下回ったため、達成度については目標値を達成できなかった。検査件数が伸び悩んだ理由は、豚熱発生に伴う防疫作業やワクチン接種作業による家保業務の増加、農場の衛生状況の向上による疾病発生の減少などによるものと考えられる。しかしながら、家畜伝染病の発生予防・まん延防止のためには積極的な検査が必要であり、今後も検査件数を増やす努力を進めていく。	BSE検査・清浄化推進、慢性疾病等生産性を阻害する疾病の調査及び予防、農場HACCPの普及・啓発による生産衛生管理の検査・検証・改善指導、動物用医薬品の適正使用と流通の監視により、安全・安心な畜産物の安定供給につながる指導体制が構築されている。 県内の野生いのししが豚熱陽性となった後、残念ながら1養豚農家で豚熱の発生が認められたが、農場バイオセキュリティの向上や野生いのししの捕獲・検査の促進、適切な防疫措置により、豚熱の他農場への拡大、県内のまん延を防ぐことができた。 これらのことから、達成度は目標値に達しなかったものの、令和元年度の本事業の推進は適正であると評価できる。
		三重県畜産協会	○農場バイオセキュリティの向上	・バイオセキュリティ資材：1式	10,276,900							
	養殖衛生管理体制の整備	三重県	○総合推進会議の開催等 ○養殖衛生管理指導 ○養殖場調査・監視 ○疾病の発生予防・まん延防止	全国会議への参加 0回 地域検討会への参加 2回 養殖管理・医薬品使用巡回指導 15回 ワクチン使用巡回指導 3回 講習会の開催 4回 情報紙の発行 8回 魚病被害・水産用医薬品使用状況調査 1回 医薬品残留調査 10検体 漁網防汚剤残留検査 10検体 魚病診断件数 236件	237,000	養殖衛生管理指導を実施した経営体数の養殖等経営体総数に占める割合	100%	100%	100%	A	計画に沿って事業を実施することができた。養殖業者の養殖衛生に関する意識の向上に寄与した。今後も養殖業者や関係者の協力を得ながら、消費者が求める安全で安心な養殖魚の供給を継続していく必要がある。	講習会や巡回指導などを目標通り実施すると共に、魚病診断や医薬品残留検査を実施するなど、養殖水産物の安定生産や安全な水産物供給にも大きく貢献しているものと評価できる。疾病防除および食品の安全性を確保するうえで重要な事業であり、予算も適切に執行されている。引き続き衛生管理体制を維持し疾病発生防除に努めて頂きたい。
	病害虫の防除の推進	三重県	○先進技術を活用した総合的病害虫・雑草管理(IPM)技術体系の確立	キャベツにおいて、根こぶ病のヘソディムを実施し、発病ポテンシャルに応じた防除対策の効果について実証した。	19,000	IPM実践指標値の現状値からの向上率	102.8	102.8	100%	A	キャベツ根こぶ病に対するヘソディムをIPM実践指標に反映する際には、秋冬作キャベツを対象とすることが明らかとなった。	IPM実践指標は地域に応じて策定する必要があり、常に新たな技術の導入や技術の見直しを行う必要がある。 ヘソディムは、ヒトの健康診断による予防の考えを取り入れた新しい土壌病害管理法である。今回、夏作（高温期）のキャベツ根こぶ病について、圃場の発病ポテンシャルに応じた防除を実施したが、発病を抑制できなかった。すでに秋冬作ではヘソディムの有効性が確認されていることから、IPM実践指標への掲載には、利用作型を指定する必要性が明確となった。今後、他の作型（春作）においてもヘソディムの有効性の検討が進むことを期待する。
重要病害虫の特別防除等	三重県	○重要病害虫侵入警戒調査等の実施	・調査総回数：176回	290,000	対象病害虫の調査・防除等の総回数（ミバエ類等）	163回	176回	107%	A	計画にもとづく調査を実施した。対象病害虫の発生は確認されなかった。	三重県において、侵入警戒対象の重要病害虫であるチチュウカイミバエ、ミカンコミバエ種群、ウリミバエ、火傷病、コドリガ、アフリカマイマイの特別防除に関してその目的に沿って、効率的な侵入警戒調査が適切に実施されている。	
総計					20,781,900					総合達成率 84% 総合評価 A		

令和元年度 消費・安全対策交付金事後評価結果

目的	目標	事業実施主体	事業内容	事業実施実績	交付金相当額(円)	目標値及び実績			都道府県等の事後評価		
						目標値	実績	達成度	評価	評価の概要及び対応方針等	第三者の意見
Ⅲ伝染性 疾病・ 病害虫の 発生予防・ まん延 防止	家畜衛生の推進 (特別交付型)	三重県	○家畜衛生対策による生産性向上の推進 ・発生農場等の防疫措置等 ○家畜衛生推進に係る関連機器の整備	・防疫活動資材： 1式 ・サーマルサイクラー： 1台	2,906,800	豚熱のまん延防止	豚熱のまん延防止	豚熱のまん延防止達成	達成	適正	本事業は計画のとおり実施することができた。県内1農場で豚熱が発生したものの、事業の適切な実施により、他農場への拡大、まん延を防止することができた。引き続き豚熱をはじめとした家畜伝染病の発生・まん延防止を進めていく。 BSE検査・清浄化推進、慢性疾病等生産性を阻害する疾病の調査及び予防、農場HACCPの普及・啓発による生産衛生管理の検査・検証・改善指導、動物用医薬品の適正使用と流通の監視により、安全・安心な畜産物の安定供給につながる指導体制が構築されている。 県内の野生いのししが豚熱陽性となった後、残念ながら1養豚農家で豚熱の発生が認められたが、農場バイオセキュリティの向上や野生いのししの捕獲・検査の促進、適切な防疫措置により、豚熱の他農場への拡大、県内のまん延を防ぐことができた。 これらのことから、令和元年度の本事業の推進は適正であると評価できる。
		三重県畜産協会	○疾病の清浄性維持 ・家畜の伝染性疾病の発生・まん延リスクが高い地域における清浄性維持に向けた取組	・電気止め刺し器： 18台 ・捕獲わな： 411基 ・捕獲野生いのしし検査促進費： 1,305頭 ・捕獲活動衛生対策資材： 1式	15,971,200						
	重要病害虫の特別防除等	三重県	○特殊病害虫緊急防除	・調査総回数：13回	27,000	ウメ輪紋ウイルスのまん延防止	ウメ輪紋ウイルスのまん延防止	ウメ輪紋ウイルスのまん延防止	達成	適正	
総計					18,905,000				総合達成率 達成 総合評価 適正		